

● 国民健康保険の現状及び今後について

Q 市における国民健康保険税の滞納額、不納欠損金の現状はどうか。

A 市民部長 平成24年度の国民健康保険税の滞納額は14億5千932万4千円で、滞納者数は4千416人であり、前年度と比較して1千529万5千円、率として1%の減、滞納者数は145人、率にして3%減少しております。また、不納欠損額は、平成22年度は5千526万4千円で、人数は495人、平成23年度は1億1千492万6千円で、人数は1千29人、平成24年度は1億2千571万円で、人数は1千94人となっております。

Q 今後も国民健康保険を市単独で維持するために、国民健康保険税は上げざるを得ないのか。

A 市長 平成24年度に税率を上げさせてい

ただいたことで、平成26年度は税率を上げないで済むという見込みです。

● 窓口サービスについて

Q 毎月、最終日曜日に開設している休日窓口サービスの利用状況はどうか。

A 市民部長 市民課における利用状況は、平成23年度432件、平成24年度545件、平成25年度は8月末現在275件で年々増加傾向であります。また、他に国保年金課、課税課、収税課においても利用件数は増加しております。

Q 職員は何人で対応しているのか。

A 市民部長 課ごとに2人から4人がそれぞれ出勤し、市民へのサービスに努めております。

● カーフェリーの弾力的運用について

Q 運用が始まってから、今まで何機の航空機の離発着が認められたのか。

A 総務部長 成田国際空港株式会社によりますと、3月末から8月末まで24件であり、内訳は、悪天候によるものが17件、滑走路の封鎖や空域使用制限によるものが4件、急病人の発生によるものが3件となっております。

Q 航空機の離発着に伴い、ペナルティ料金が課せられるが、その金額及び市に配分される金額は幾らか。

A 総務部長 見込み額は、8月末までの実績で814万円あり、この実績をもとに試算すると年間のペナルティ料金の総額は約2千万円程度と予想され、この6分の1の約330万円が配分される見込みということとなります。

Q 配分されたペナルティ料金を市はどのような形で保管するのか。

A 総務部長 騒音対策または地域振興に役立つ事業に充てさせてい

ただきたいと考えていますが、具体的な使途については、現在のところまだ決まっておりません。

● 圏央道の開通後の状況及び延伸計画について

Q 圏央道の東金JCTより木更津IC間の開通したが、開通後の松尾横芝ICの利用状況、また、松尾横芝ICより大栄JCT(仮称)間の今後の計画の状況はどうか。

A 都市建設部長 松尾横芝ICの利用状況は、昨年の5月から7月と今年の同月を比較すると、5月が1万9千940台で、17.75%増、6月が1万5千457台で、13.63%増、7月が2万469台で、16.86%の増という状況から、今後とも増加すると思われるます。

また、松尾横芝ICより大栄JCT間が、唯一、一番遅れている区間

ですが、本年度10億円という予算が計上され、平成24年度は、設計、用地説明会等を開催し、現在、用地の幅員の設置、用地調査を推進してあります。用地幅員の設置が完了したところから、順次、用地調査を実施し、用地買収を行っております。

● 窓口サービスの向上について

Q 住基カードの発行状況はどうか。

A 市民部長 全体で3千274枚です。発行手数料を無料にしてからは、1千199枚交付しております。現在、有効な住基カードを所持している市民の方は2千753人で、市民全体の4.9%となっております。

Q コンビニでの証明書等発行の取扱い状況はどうか。

A 市民部長 現在は、全国全てのコンビニ

山政研 関連質問



小川 良一 議員



コンビニで住民票の写し等が取得できます